



Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho), written vertically on aged paper. The text is organized into approximately 15 vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and expressive, typical of the cursive style. The paper shows signs of age, including some staining and discoloration. A ruler is visible at the bottom of the image for scale.



唐音之義

待文河人積

如坦東亦在唐

初以宏博淵

深之學行奇偉周備

文擅名域內答傳後

世下為下

唐音者之罪不少

了之好之

書之德之我之

四千

之人何有

桓武帝の時

相觸命

以漢音

之

おん

容易

之

之

之

之

之

之

之

廢...乃...
子...
...

一...
...

送...
...

建...
...

...

...

...

...

一省...
...

...

...

...

...

...

...

...

大...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

信傳代

了

少長

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

一南和方孫清為

高人のそりあけりてさうりく
ことしはふゆさうりくあめつる

うきむらうりく世のもしさうりく
むらうりく世のけのいまをむら
の、まの、後のむらうりく

つねに石舟の言をうんてんして心
毎のうらむ言をうんてんして心
下石舟と黄雀色明月照通南北

思ふに、うらむ言をうんてんして心
文和元年九月十二日
石舟の言をうんてんして心

石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心

石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心

石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心
石舟の言をうんてんして心

桂洲板

二月

石舟の言をうんてんして心

石舟の言をうんてんして心

芳洲雨森翁手簡

特選
子6
3890
58



丙寅夏日

春城叟署

